

新型コロナウイルス感染症の区内発生状況及び保健所等の取組について

1 発生状況の概要

令和4年10月中旬から到来した第8波については、12月26日の一日あたりの感染者数569人、12月29日の一日あたりの自宅療養者数448人を記録した後、現在は、緩やかな減少傾向にある。また、懸念されていたインフルエンザとの同時流行について、現時点では、区内において顕著な流行とはなっていない。

区では、本年5月8日からの新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類に変更されることに伴う国や都の今後の動向等を踏まえつつ、全庁を挙げた応援体制及び民間事業者の活用なども継続しながら、引き続き区民の命を守る対策に取り組む。

2 区保健所の今までの主な取組（12月以降の実績等）

(1) 蔓延防止（患者等への対応）

疫学調査、入院勧告、患者及び濃厚接触者の健康観察※（継続）

※令和4年9月26日から、医師による保健所への発生届出対象者が65歳以上の方、入院を要する方、妊婦の方、重症化リスクがあり新型コロナ治療薬又は酸素投与が必要な方に限定

(2) 相談体制・連携体制

- ① 受診・相談センターと自宅療養者支援ステーションにおける相談内容の振り分け機能の導入、相談・支援業務の強化、多機能電話と録音装置の設置による電話応答の効率化・区民の利便性の向上・相談内容の正確な把握（継続）
- ② 基幹病院及び医師会等との対策連絡会を令和3年末以来22回開催（1月31日現在）
- ③ 「自宅療養者支援検討会（医師会等）」の設置（継続）
- ④ 検体採取を実施する医療機関の従事者複数名の感染による休業又は診療の縮小期間の経営継続支援補助制度の実施（継続）
- ⑤ コロナ病床確保のための転院支援事業
区内10病院との協定に基づく転院患者 延べ51名（令和4年4月1日～12月31日実績）

(3) 医療・検査体制

- ① 4病院での「発熱外来・検査スポット」設置と医師会会員による輪番従事の実施（継続）
- ② PCR検査バスを活用したPCR検査の実施（継続）
- ③ 地域のかかりつけ医での発熱患者の診療又は検体採取の実施（1月27日現在：183機関）
- ④ 休日等夜間急病診療所（保健所内設置）での発熱患者診察にPCR検査バスを活用（継続）
- ⑤ 東京都PCR等検査無料化事業に対する連携協力
・令和4年12月末から順次区立4公園（下高井戸おおぞら、柏の宮、蚕糸の森、井草森）で追加実施
・検査数 計39,664件（令和4年6月22日～令和5年1月30日実績）
（内訳）阿佐ヶ谷駅前：20,217件、高円寺駅前：17,511件（令和4年6月22日～令和5年1月30日実績）、区立4公園 計1,936件（令和4年12月28日～令和5年1月30日実績）
- ⑥ 障害者施設へ通所する方を対象とした抗原定性検査キットの配布（16施設、計1,342回分）
- ⑦ 杉並区医師会に対し、従事者が濃厚接触者になった際、陰性確認のために使用する抗原定性検査キットを配布（270医療機関、計14,850回分）

(4) 保健所体制

- ① 派遣職員（看護師等）による積極的疫学調査や入院調整等への増配置
- ② 委託を含む業務の見直しと感染状況に合わせた保健師及び事務職員の適切な応援体制の構築
- ③ 派遣看護師の1人当たり疫学調査数を増やすため、疫学調査票の見直し、研修・指導等を実施

- ④ 区直営の PCR 検査判定の実施（生活衛生課分室：旧衛生試験所）（継続）
- ⑤ 保健予防課に対する応援体制や増員配置による執務室の確保（区施設を活用した転用等）
- ⑥ 自宅療養者に対する都と保健所の役割分担を明確化した上で、保健所対象者の支援を強化（継続）
- ⑦ 自宅療養者への医療提供の充実
自宅療養者の重症化予防のため、医師会及び区内訪問看護ステーション事業者の協力により、在宅訪問診療及び訪問看護体制の確保（継続）

(5) ワクチン接種体制

- ① 12 歳以上の方への初回接種（1・2 回目）・オミクロン株対応 2 価ワクチン接種（3～5 回目）及び小児（5 歳以上 11 歳以下）接種を病院・診療所、集団接種会場において実施するとともに、休日等夜間急病診療所（12 月 3 日から）を含む区内診療所において乳幼児（生後 6 か月以上 4 歳以下）接種の実施
- ② 初回接種（1・2 回目）未接種者への多言語による勧奨通知の発送及び集団接種会場における予約なし接種の実施による接種機会の充実
- ③ 予防接種法改正による海外在留邦人や製薬企業等が行う治験に参加した方など（枠外接種）へのワクチンパスポート（予防接種証明書）の発行開始及び電子申請による手続きの充実

3 今後の主な取組

(1) 区民周知・啓発

区ホームページ等を活用し、各個人による抗原定性検査キット及び解熱鎮痛薬の事前確保や、発症時の年齢、基礎疾患に沿った相談体制、医療機関案内などを周知するとともに、早期のワクチン接種の検討を呼びかけることで、区民一人ひとりの自主的な感染予防行動の周知徹底を図る。

(2) 相談体制・連携体制

- ① 受診相談体制の強化
 - ・受診・相談センター及び自宅療養者支援ステーションの委託先との連絡・調整等
 - ・相談マニュアルの見直し等による更なる業務効率化
- ② 陽性患者管理システムの効果的な運用
 - ・感染状況や制度改正に合わせた陽性患者管理システムの修正・活用
- ③ 基幹 4 病院・医師会等との対策連絡会など必要な会議は随時開催し、情報共有・連携体制を継続

(3) 検体採取・検査体制

- ① 発熱患者の診療又は検体採取を実施する地域のかかりつけ医の継続確保
- ② PCR 検査バスを活用した PCR 検査（モニタリング）は感染状況を踏まえた上で継続
- ③ 東京都 PCR 等検査無料化事業に対する連携協力（実施場所提供）を当面の間継続

(4) 保健所体制

- ① 更なる業務の見直しによる保健師及び事務職員の応援体制の検討
- ② 区職員による PCR 検査判定の実施（生活衛生課分室）（継続）
※有症状者に対し、新型コロナウイルス及びインフルエンザウイルスの同時 PCR 検査を実施（鼻咽頭ぬぐい液または鼻腔ぬぐい液に限る。）

(5) ワクチン接種体制

- ① 特例臨時接種の実施期間である令和 5 年 3 月 31 日まで、個別接種及び集団接種体制の継続
- ② 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会において検討されている、今後の接種のあり方に関する国方針を踏まえ、区の接種体制を検討（必要な接種については、引き続き自己負担なく受けられる予定）

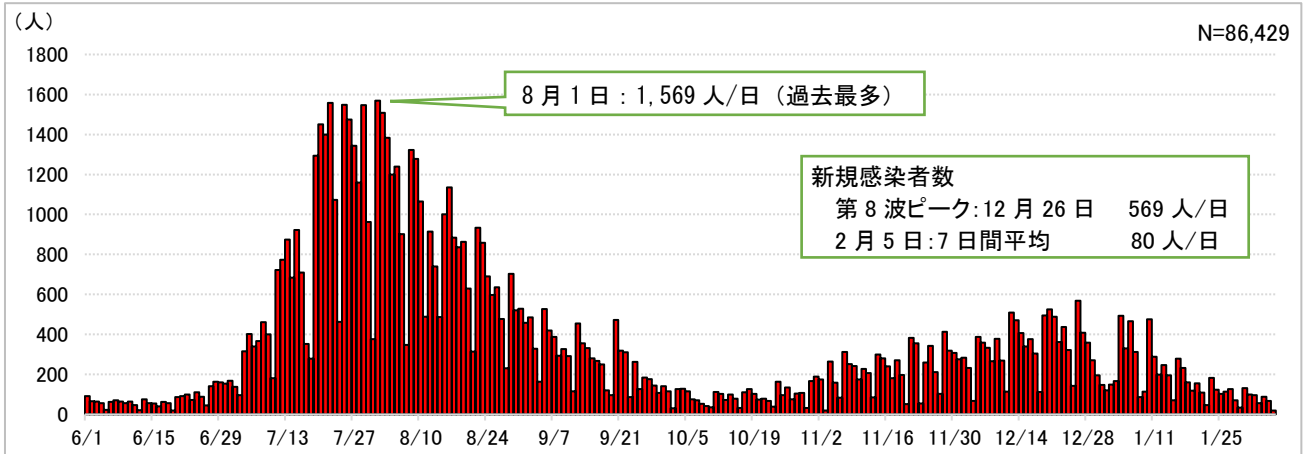
(6) 2 類から 5 類へ位置づけ変更に伴う対応

令和 5 年 5 月 8 日以降に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけ変更に伴い、区医師会及び区内関係医療機関とも連携しながら、必要な対策・対応の検討及び取組を行う。

【杉並区における新型コロナウイルス感染状況の概要(令和5年2月5日現在)】

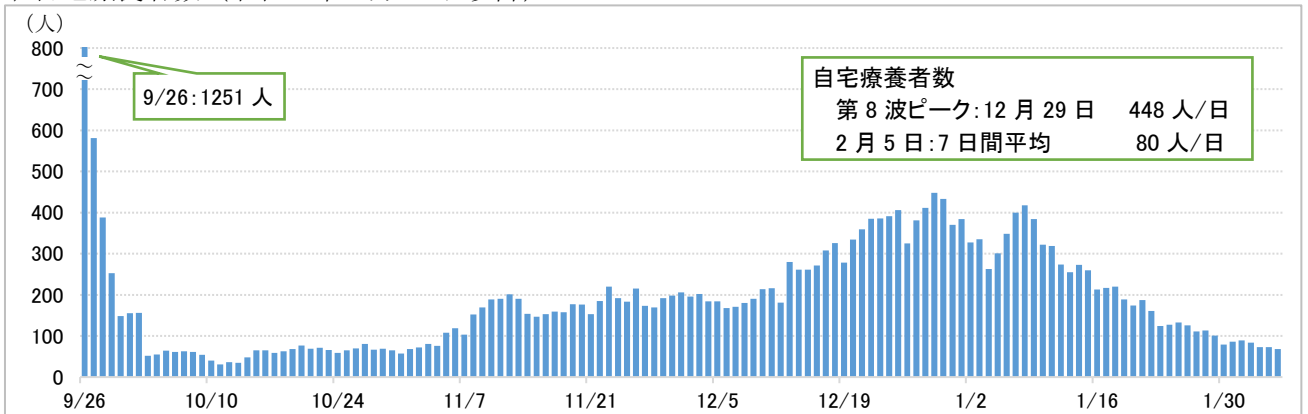
令和4年9月26日から新型コロナウイルス感染症の発生届方式が変更され、届出対象が、①65歳以上の者、②入院を要する者、③重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な者、または、新たに酸素投与が必要な者、④妊婦に限定化された。

(1) 新規患者発生数



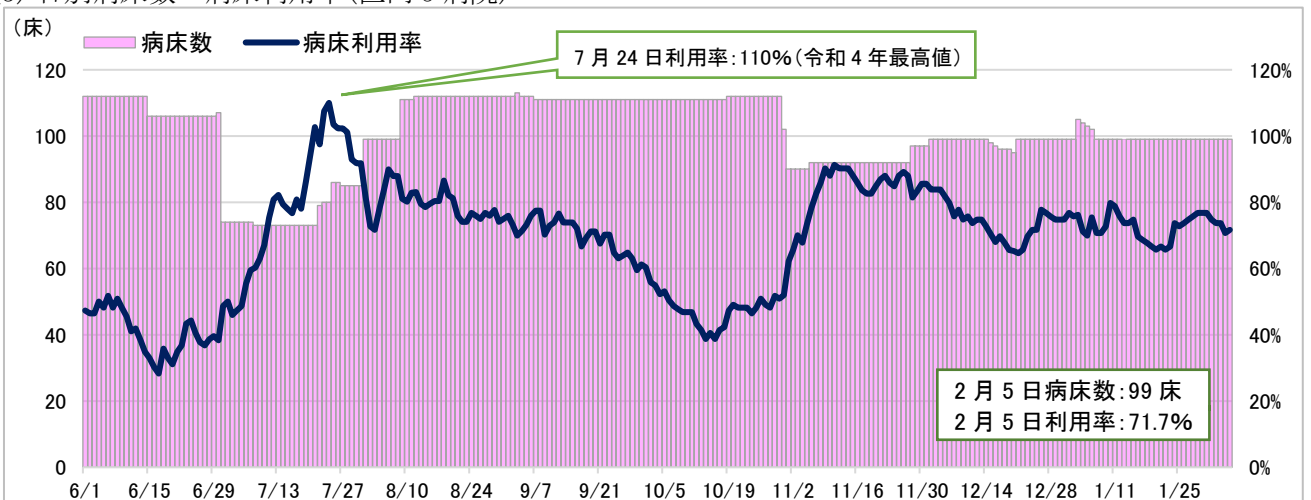
※発生届方式変更後(9月26日以降)の新規患者発生数は、区内医療機関からの新型コロナ患者数報告による

(2) 自宅療養者数(令和4年9月26日以降)



※発生届対象者のうち自宅待機・自宅療養となった人数

(3) 日別病床数・病床利用率(区内5病院)



※病床利用率が100%を超えるのは、コロナ専用病床以外の一般病床での患者の受入れ数を加えたため

〇杉並区 新型コロナウイルスワクチン接種状況

【令和5年2月13日集計】

(1) 年齢別接種数累計と接種済者割合

12歳以上

区内人口① (令和5年2月1日時点)	【従来型ワクチン】 1・2回目接種数② ／接種率(②÷①)		【従来型・2価ワクチン】 3回目接種数③ ／接種率(③÷①)		【従来型・2価ワクチン】 4回目接種数④ ／接種率(④÷①)		【2価ワクチン】 5回目接種数⑤ ／接種率(⑤÷①)		【2価ワクチン】 3～5回目接種数 ／接種率		
			(うち2価ワクチン接種数／接種率)		(うち2価ワクチン接種数／接種率)						
65歳以上	120,113	112,159	93.4%	108,976 (446)	90.7% (0.4%)	102,407 (5,032)	85.3% (4.2%)	89,733	74.7%	95,211	79.3%
60歳～64歳	30,605	27,817	90.9%	26,004 (308)	85.0% (1.0%)	21,927 (4,271)	71.6% (14.0%)	15,546	50.8%	20,125	65.8%
50歳～59歳	83,998	74,273	88.4%	65,389 (1,545)	77.8% (1.8%)	40,311 (29,540)	48.0% (35.2%)	8,167	9.7%	39,252	46.7%
40歳～49歳	90,065	78,304	86.9%	62,870 (2,360)	69.8% (2.6%)	28,915 (23,258)	32.1% (25.8%)	3,890	4.3%	29,508	32.8%
30歳～39歳	86,358	75,932	87.9%	56,724 (3,184)	65.7% (3.7%)	19,100 (15,608)	22.1% (18.1%)	2,103	2.4%	20,895	24.2%
20歳～29歳	79,872	60,328	75.5%	43,252 (3,927)	54.2% (4.9%)	11,348 (9,192)	14.2% (11.5%)	1,123	1.4%	14,242	17.8%
12歳～19歳	30,933	22,340	72.2%	15,477 (2,331)	50.0% (7.5%)	5,781 (5,707)	18.7% (18.4%)	44	0.1%	8,082	26.1%
計	521,944	451,153	86.4%	378,692 (14,101)	72.6% (2.7%)	229,789 (92,608)	44.0% (17.7%)	120,606	23.1%	227,315	43.6%

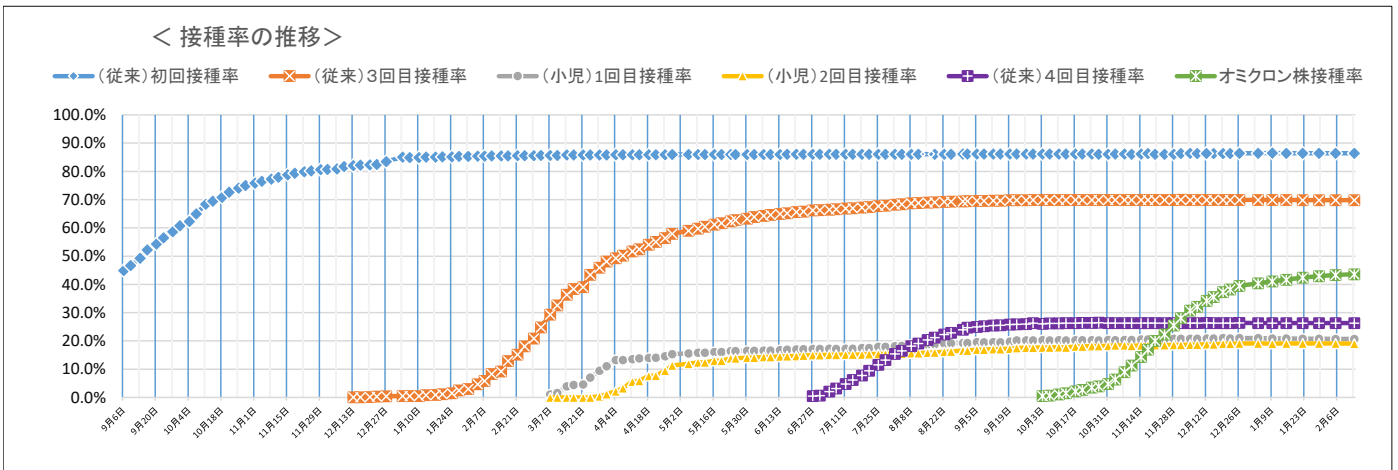
5歳以上11歳以下(小児接種)

区内人口 (令和5年2月1日時点)	1回目接種数／接種率	2回目接種数／接種率	3回目接種数／接種率	
5～11歳	28,686	5,936 20.7%	5,463 19.0%	2,300 8.0%

生後6か月以上4歳以下(乳幼児接種)

区内人口 (令和5年2月1日時点)	1回目接種数／接種率	2回目接種数／接種率	3回目接種数／接種率	
生後6か月～4歳	18,070	991 5.5%	833 4.6%	120 0.7%

※接種数はワクチン接種記録システム(VRS)に登録されている数値であり、実際の接種数とは異なる。また、区内の集団・個別接種会場及び全国の大規模接種会場や職域接種などでの接種を含めた数値である。
 ※初回(2回目)接種数及び接種率には、1回目接種のみの接種者は含まれない。
 ※12～19歳の従来株ワクチンの接種者数には、11歳までに小児接種を受け、その後年齢が12歳に上がった者を含む。
 ※2価ワクチンとは、従来株に由来する成分とオミクロン株に由来する成分の両方を含むワクチンを指す。
 ※3回目接種と4回目接種の()内の数値は、2価ワクチンの接種者数・接種率である。



※(小児)3回目接種率は及び乳幼児接種率は、数値が微小ため、推移表には掲載していない。

(2) 区内各集団接種会場、病院、診療所の接種実績内訳

	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	週計	接種数計
集団接種会場	104	41	33	49	72	143	183	625	893,116
個別接種／病院	4	1	7	7	0	6	0	25	81,761
個別接種／診療所	3	60	67	43	108	69	17	367	302,272
合計	111	102	107	99	180	218	200	1,017	1,277,149